

## 令和8年度談話会 質疑応答内容（要約）

Q.学芸員の資格を取得できる大学はどうしたら調べることができますか？

A.文化庁のHPに学芸員養成課程開講大学の一覧

([https://www.bunka.go.jp/seisaku/bijutsukan\\_hakubutsukan/shinko/about/daigaku/](https://www.bunka.go.jp/seisaku/bijutsukan_hakubutsukan/shinko/about/daigaku/))が掲載されていますので、自分が進学を希望している大学が記載されているか確認するのが最も確実だと思います。わからないことがあれば、当センターや博物館、地元の市町村の文化財保護部局（文化財担当）など専門職員がいる機関に相談してみるのも方法の一つです。

Q.時代によって出土する土器やものに違いはありますか？

A.あります。例えば縄文時代に使用されているのは縄文土器と石器、木製品などが中心ですが、弥生時代になると弥生土器、石器のほかに青銅器や鉄器なども出土するようになります。古墳時代になると朝鮮半島から新しい焼き物の技術が伝わり、須恵器と呼ばれる窯で焼かれる土器が出土するようになります。このように時代ごとに出土する土器の種類や遺物に違いがあり、発掘調査などではどんな種類のものが出てくるかによって遺跡の時代を考えることができます。

Q.地域にお地藏様などがあるのですが、壊れてしまっているのを直したい場合どうすればいいでしょうか？

A.まずはそのお地藏様などがある場所の市町村の教育委員会など、文化財を担当する部局に相談してみるのがいいと思います。お地藏さんに限らず、文化財は市町村指定、県指定、国指定などに違いによって対応が変わります。修復を行う場合は、内容によって国の補助金などを利用することもできます。また、勝手に修理することはできませんので、まずは上記担当部署に連絡してみてください。

Q.古墳にある埴輪について、もともと人の代わりに作られたという話を読んだことがあるのですが本当ですか？

A.奈良時代に編集された『日本書紀』という歴史書の中に垂仁天皇の時代、陵墓のまわりに生きたまま人を埋めており、それをよくないことと天皇が考えたので、部下が人の代わりに人や馬などの形をした埴輪を作って陵墓に立ててはどうかと提案した、という話があります。実際には、埴輪を詳しく調査していくと、埴輪の起源は土器祭祀と呼ばれる土器を使った祭りの一種の中で、壺とそれを置くための台（器台）が少しずつ形を変えて円筒埴輪になり、そのあと人や馬などの形象埴輪と呼ばれる埴輪が登場したことが明らかになってきました。なので、もともと人の代わりに作ったのが埴輪という話と実際の埴輪が誕生した経緯は異なるため、質問のお話はあくまで伝承の一つであると考えます。

『日本書紀』を編集した時代には既に埴輪を伴うような古墳は作られておらず、当時の人々は埴輪がもともとどのような理由で立てられたのか分からなくなっていたと考えられます。また、身分の高い人のお墓に家来であった人を実際に埋めたりする記録は中国の歴史書などに見られるので、そういった話と埴輪の形が結びついて『日本書紀』に書かれたような伝承になったのではないのでしょうか？